

新人戦

(議題の決定について)

当初、不良債権についての現状とその問題点を論点にするということで望月ゼミ A 班ではまとまったのですが、徳田ゼミさんとの話し合いの結果、デフレについてディスカッションを進めるほうが、日本経済の問題点について、より建設的なディスカッションになるのではないだろうかということで、今回のテーマ、「デフレについて」が決定しました。

(新人戦当日のディスカッションの流れについて)

新人戦当日のディスカッションの流れです。

1、論文についての質問点

・望月ゼミ・徳田ゼミ両者とも、論文の時点での質問点(質問書に書いていなかった点で)を述べました。

2、デフレの構造について

・どちらの論文とも、「デフレについて」で書かれていたので、なぜ、デフレが起きているのか、その構造について、両ゼミとも意見を述べました。

「デフレ(物価低下) 企業収益の悪化 雇用の低下

これらがスパイラルに続いていくことで、デフレから抜け出せなくなっている。」という結論になりました。

3、デフレが経済に及ぼす影響

では、デフレは実際経済にどのような影響をあたえているのかということについて話し合いました。

- ・実質利子率の上昇(マンデル効果)
- ・企業収益の低下
- ・地価・株価の下落(資産デフレ)
- ・雇用の低下 失業率の上昇
- ・銀行の貸し渋り、企業の倒産

4、不良債権が及ぼす影響

デフレの一要因である不良債権は、経済にどのような影響を与えているのかについて話し合いました。

- ・貸し渋り
- ・逆資産効果
- ・処理に関するデフレ圧力（例 リストラ
- ・オーバーカンパニー

5、不良債権処理に関する問題点

では、不良債権は、どのように処理をしていけばいいのかについて話し合いました。ここでは、徳田ゼミさんが、国営（RCCを中心とした）システムで行っていくべきだとし、望月ゼミでは、民営にするべきだという意見にわかれ、ディスカッションを行いました。ここで、論点となったのは、国営であれば、現行のシステムでありますので、それを続けていくことが、効率のよい処理方法であるのか、また、民営で行っていくのであれば、そのシステムは具体的にどのようにしていけばよいのか、などについて話し合いました。

また、処理に関する問題点として、

- ・失業の増加
- ・資産価値の減少分を誰が補填するのか

などもあがり、話し合いました。

6、失業の解決策について

では、不良債権処理などで発生した失業者問題についてはどのように解決していけばよいのかについて話し合いました。

両ゼミで共通した見解として「新規産業の育成」と「政府の社会保障について」があげられました。

新規産業 = 知的集約型産業、福祉産業など

社会保障 = セーフティーネットなど

以上が新人戦 A 班と、徳田ゼミさんとのディスカッションの大まかな流れです。